

<学習内容>

- ▶ 源平合戦
- ▶ 鎌倉幕府の成立
- ▶ 鎌倉幕府の支配体制
- ▶ 北条氏の政治
- ▶ 鎌倉幕府 VS 朝廷
- ▶ 鎌倉幕府の組織図
- ▶ 武士の生活
- ▶ 鎌倉時代の生活・社会

源平合戦

■平氏の滅亡

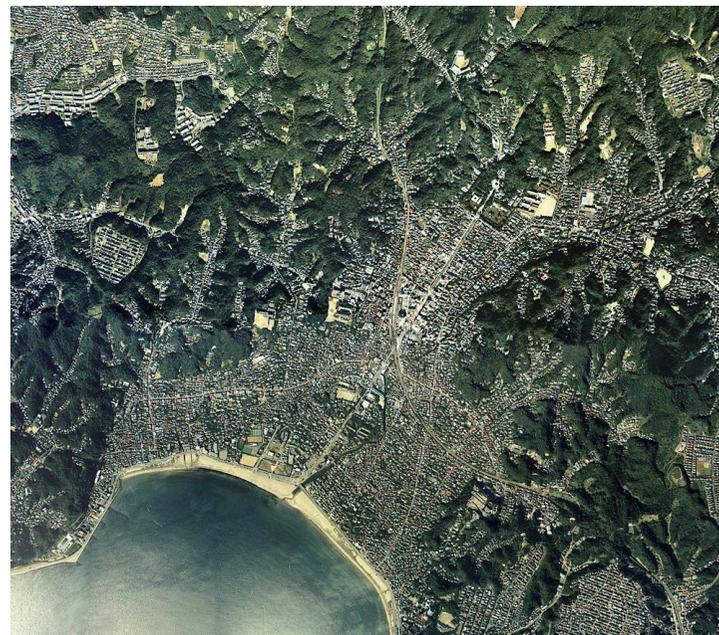
源氏の源頼朝みなもとのよりともは鎌倉かまくらに根拠地をおいて、関東の武士をまとめあげた。そして、弟の源義経よしつねを西国に送り、平氏を滅ぼした。ほろ



▲源頼朝



▲源義経



▲現在の鎌倉

源平合戦



▲一の谷の戦い



▲だんのうら
壇ノ浦の戦い

鎌倉幕府の成立

■鎌倉幕府

平氏滅亡後，源頼朝は国ごとに^{しゅご}守護，^{しやうえん}莊園などに^{じとう}地頭を置き，自分は^{せいいたいしやうぐん}征夷大將軍になり鎌倉幕府を開いた。

四択問題

次の文は、鎌倉幕府について述べたものである。() に入る言葉の組合せとして最も適当なものを一つ選びなさい。

源頼朝は、国ごとに(A), 荘園などに(B)を置いた。

- ① A 一豪族 B 一地頭
- ② A 一守護 B 一豪族
- ③ A 一地頭 B 一守護
- ④ A 一守護 B 一地頭

④

鎌倉幕府の支配体制

■封建制度

将軍は家来である御家人との、土地を仲立ちとする主従関係をもとにして、民衆を支配した。

北条氏の政治

■ 執権政治

みなもとのよりとも

ごけにん

源頼朝の死後、御家人の間で主導権をめぐる争いがおき、その中で北条氏が勢力をのぼしてきた。御家人たちをまとめた北条氏は、将軍の補佐役である執権しっけんとしてその地位を独占するようになった（執権政治）。

※御家人…鎌倉幕府に従う武士のこと。

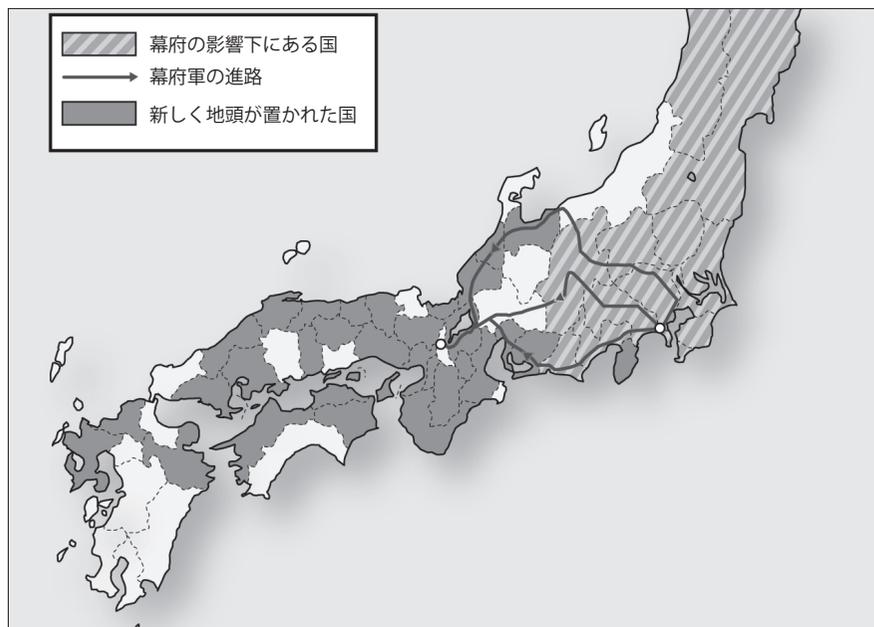
鎌倉幕府 VS 朝廷

■^{じょうきゅう}承久の乱

1221年、^{ごとばじょうこう}後鳥羽上皇は、源氏の将軍が3代でとだえると、鎌倉幕府を倒すために兵をあげた（^{じょうきゅう}承久の乱）。

⇒幕府側が勝利し、後鳥羽上皇は^{おき}隠岐（島根県）に流された。

また、朝廷を監視し、西国の武士を統制するために、京都に^{ろくはらたんだい}六波羅探題を設置した。

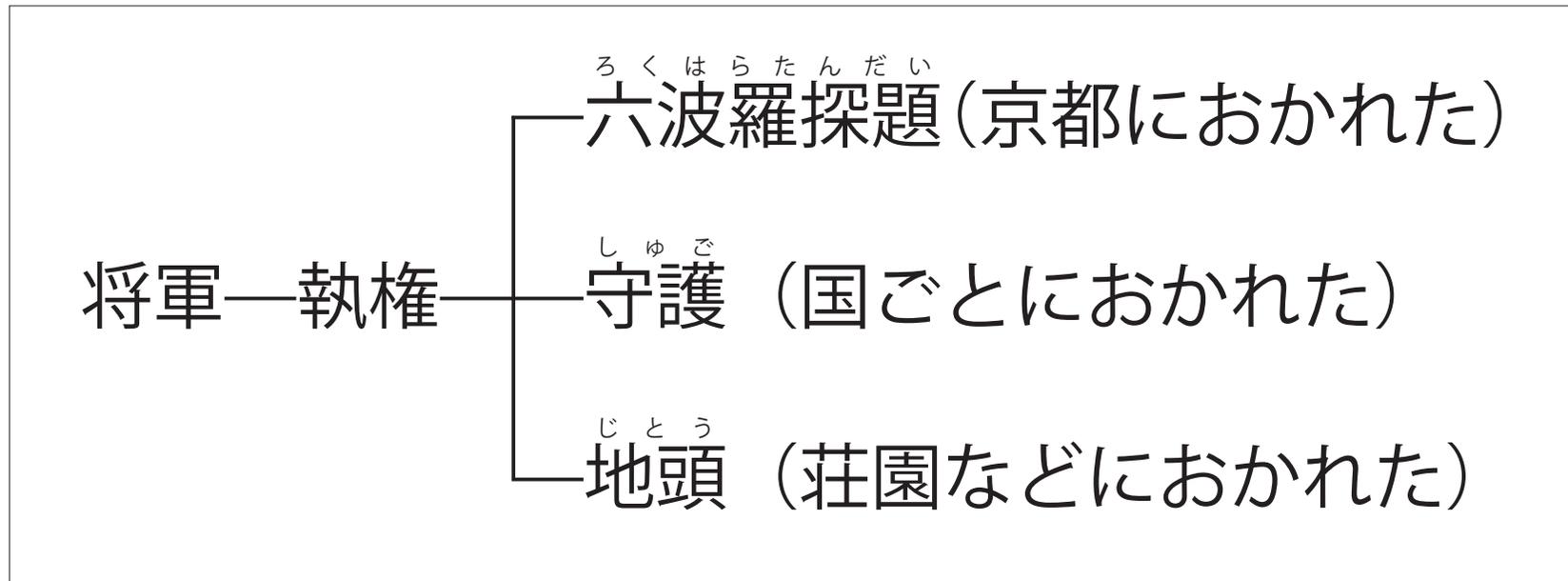


◀ 承久の乱



◀ 後鳥羽上皇

鎌倉幕府の組織図

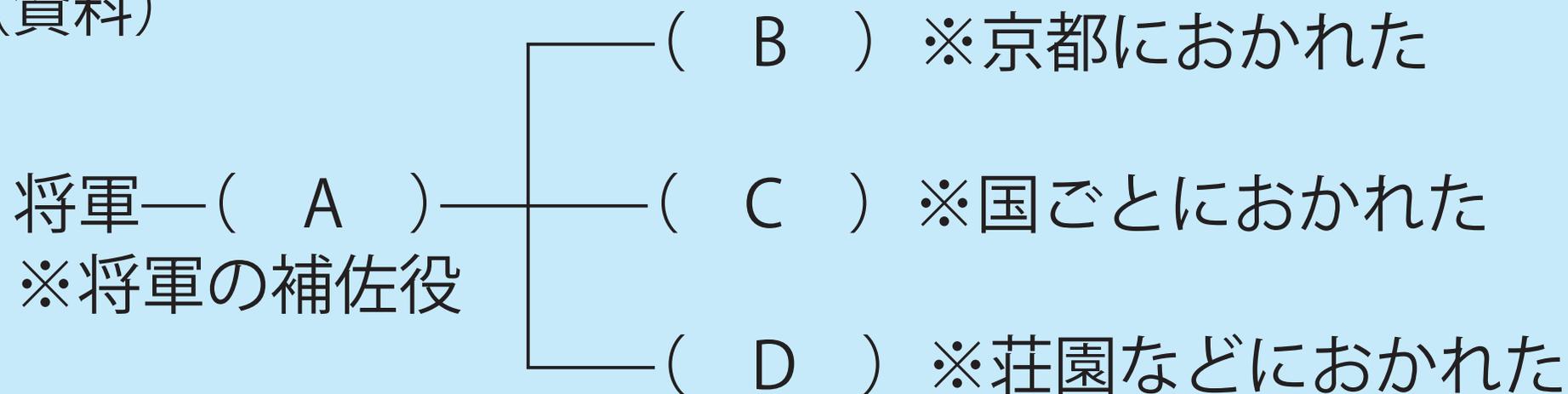


資料問題

資料は鎌倉幕府の組織図である。資料中のA～Dにあてはまる役職名を①～⑤の中からそれぞれ選びなさい。

※はその役職の説明である。

(資料)



- ①執権 ②関白 ③六波羅探題
④地頭 ⑤守護

A ① B ③ C ⑤ D ④

武士の生活

■武士の慣習

1232年、執権の^{ほうじょうやすとき}北条泰時は武士のために^{ごせいばいしきもく}御成敗式目という法律を制定した。御成敗式目は武士の^{かんしゅう}慣習にもとづいてつくられた。



▲北条泰時

入試問題（平成 28 年度 和歌山県公立高校入試問題・改）

次の資料は、武家社会の慣習をまとめた法律の一部である。
この法律を何とというか、答えなさい。

（資料）

- 一 諸国の守護の仕事は、御家人の京都を守る義務を指揮・
催促すること、謀反や殺人などの犯罪人を取りしめる
ことである。
- 一 20 年以上継続してその地を支配していれば、その者
の所有になる。 （一部要約）

御成敗式目